

平成30年度 入学試験に関する調査

三重短期大学

1 学科組織及び入学試験種別

科・部 / 専攻・コース		定員	昼・夜	修業年限	推薦募集人員	関連分野募集人員	一般募集人員	センター募集人員	社会人募集人員
法経科第1部	法律コース	100名	昼	2年	50名程度	—	40名程度	10名程度	—
	経商コース								
法経科第2部		150名	夜	2年	30名程度	—	40名程度	50名程度	30名程度
生活科学科	食物栄養学専攻	50名	昼	2年	20名程度	—	25名程度	5名程度	—
	生活科学専攻	100名			45名程度	5名程度	30名程度	20名程度	若干名
	居住環境コース								

2 入試別受験状況等

(1) 推薦入学者選抜

ア 選抜試験実施結果

()は、男性の内数

科・部 / 専攻・コース		募集人員	志願者 11/1~10	受験者 11/25 11/26 (法2)	合格者 11/28	入学者
法経科第1部	法律コース	50名程度	38(13)	38(13)	26(6)	26(6)
	経商コース		29(9)	29(9)	27(8)	27(8)
法経科第2部		30名程度	34(16)	34(16)	28(10)	12(5)
生活科学科	食物栄養学専攻	20名程度	38(0)	38(0)	23(0)	23(0)
	生活科学専攻	45名程度	15(1)	14(1)	14(1)	14(1)
			18(3)	18(3)	18(3)	18(3)
合計		145名程度	172(42)	171(42)	136(28)	120(23)

イ 推薦条件

法経科第1部・生活科学科・法経科第2部とも一般公募推薦方式

●法経科第1部・生活科学科

- (ア) 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者。(国・公・私立の別、また全日・定時・通信制の別を問わない。)
- (イ) 人物、学業ともに優れている者。(ただし、学業成績は「全体の評定平均値」が3.5以上であることが望ましい。)
- (ウ) 学校長の推薦を得て、合格した場合に必ず入学できる者。

※各学科・専攻とも、次に掲げる人員を上限として[津市特別推薦枠]を設けます。

【法経科第1部：20名、生活科学科食物栄養学専攻：10名、同科生活科学専攻：20名】

[津市特別推薦枠]により出願する場合は上記(ア)から(ウ) (ただし、(イ)における評定平均値は3.3以上であることが望ましいものとします。)に加えて、「入学の日(4月1日)の1年前から引き続き津市内に住所を有する者、またはその者の配偶者もしくは一親等の親族である者」に該当することを要します。

●法経科第2部

- (ア) 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者。(国・公・私立の別、また全日・定時・通信制の別を問わない。)
- (イ) 学校長の推薦を得た者。

ウ 選抜方法

- 法経科第1部・生活科学科 書類審査、小論文、面接
- 法経科第2部 書類審査、面接

エ 配点割合

科目 \ 科・部	法経科第1部	法経科第2部	生活科学科
小論文	50点満点 (90分)	—	50点満点 (90分)
面接	50点満点 (書類審査含む)	100点満点 (書類審査含む)	50点満点 (書類審査含む)
総点	100点満点	100点満点	100点満点

オ 成績調査

		法経科第1部		生活科学科			
		法律・経商		食物栄養学専攻		生活科学専攻	
		生活福祉・心理、居住環境		一般枠		津市特別枠	
		一般枠	津市特別枠	一般枠	津市特別枠	一般枠	津市特別枠
小論文	受験者	最高点	42	43	42		
		平均点	31.00	32.05	34.88		
		最低点	18	17	25		
面接	受験者	最高点	40	40	50		
		平均点	32.67	33.50	40.75		
		最低点	23	25	36		
合格最低点		57	56	65	71	66	65

		法経科第2部	
面接	受験者	最高点	100
		平均点	66.62
		最低点	40
合格最低点		55	

(2) 関連分野特別選抜入学試験 (推薦・センター・社会人は含んでいません)

ア 入学試験実施状況

()は男性の数

生活科学科	専攻・コース		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
	生活科学専攻	生活福祉・心理コース 居住環境コース		9/5~11	9/24	9/29	
			5名程度	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
				6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)

イ 受験資格

●生活科学科 生活科学専攻

- (ア) 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者。(国・公・私立の別、また全日・定時・通信制の別を問わない。)
- (イ) 人物、学業ともに優れている者。(ただし、学業については評定平均値3.5以上)
- (ウ) 合格した場合、必ず入学できる者。

ウ 選抜方法

- 生活科学科 生活科学専攻 書類審査、面接

科目 \ 科・部	生活科学科
面接	100点満点 (書類審査含む)
総点	100点満点

エ 成績調査

			生活科学科 生活科学専攻
面接	受験者	最高点	83
		平均点	77.43
		最低点	75
合格最低点			75

(2) 一般入学試験（推薦入試・センター利用入試・社会人入試は含んでいません）

ア 受験状況

（上段／男性、下段／女性）

科・部	志願者				受験者				合格者				入学者			
	1/10～1/19(法1・生活) 2/26～3/2(法2)				2/6(生活)・2/7(法1) 3/11(法2)				2/9(法1・生活) 3/13(法2)							
	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計
法経1部	37	6	3	120	37	5	2	117	21	4	1	77	21	4	1	62
	67	7	0		67	6	0		46	5	0		31	5	0	
法経2部	12	7	1	28	11	7	1	25	11	6	1	23	9	6	1	21
	4	2	2		3	1	2		3	1	1		3	1	1	
食栄専攻	4	2	0	75	4	2	0	73	2	1	0	45	2	1	0	29
	63	6	0		61	6	0		36	6	0		23	3	0	
生活専攻	12	2	3	73	11	2	2	69	10	2	1	67	6	1	0	42
	49	6	1		47	6	1		47	6	1		30	4	1	

イ 試験科目

●法経科第1部・生活科学科

〔英語〕 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ

〔国語〕 国語総合(ただし、古文・漢文を出題範囲から除く。)

●法経科第2部

小論文、面接(書類審査を含む。)

ウ 配点割合

科目 \ 科・部	法経科第1部	法経科第2部	生活科学科
英語	100点満点(60分)	—	100点満点(60分)
国語	100点満点(60分)	—	100点満点(60分)
調査書	参考程度	面接に含む	参考程度
小論文	—	50点満点(60分)	—
面接	—	50点満点	—
合計	200点満点	100点満点	200点満点

エ 成績調査

		法経科第1部		生活科学科	
		法律・経商		食物栄養学専攻	生活科学専攻 生活福祉・心理、居住環境
英語	受験者	最高点	91	93	89
		平均点	62.59	57.82	53.22
		最低点	28	11	19
国語	受験者	最高点	86	78	87
		平均点	60.69	60.93	62.52
		最低点	31	32	39
合格最低点			118	117	89

		法 経 科 第 2 部	
小論文	受験者	最高点	42
		平均点	30.80
		最低点	21
面接	受験者	最高点	40
		平均点	30.24
		最低点	10
合格最低点		47	

(3) 社会人特別選抜

ア 選抜試験結果

(上段/男性、下段/女性)

科・部	志 願 者				受 験 者				合 格 者				入 学 者			
	現役	既卒	認定	合計												
生活 専攻	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	0	1	0		0	1	0		0	1	0		1	0	0	
法経 2部	0	7	0	12	0	7	0	12	0	7	0	12	0	7	0	12
	1	4	0		1	4	0		1	4	0		1	4	0	

イ 選抜方法

- 生活科学科 生活科学専攻 書類審査、小論文、面接
- 法経科第2部 書類審査、面接

ウ 配点割合

科目 \ 科・部	生活科学科	法 経 科 第 2 部
小 論 文	50点満点 (90分)	—
面 接	50点満点(書類審査含む)	100点満点(書類審査含む)
総 点	100点満点	100点満点

エ 成績調査

		生活科学科	法 経 科 第 2 部
小論文	受験者	最高点	/
		平均点	
		最低点	
面接	受験者	最高点	80
		平均点	70.00
		最低点	45
合格最低点		68	45

(4) センター利用入学者選抜 (I期)

ア 選抜試験結果 (個別試験は実施せず)

(上段/男性、下段/女性)

科・部	志 願 者				合 格 者				入 学 者			
	2/9~2/16(法1・生活)				2/26(法1・生活)							
	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計
法経 1部	12	5	0	40	8	3	0	31	3	1	0	10
	19	4	0		16	4	0		5	1	0	
食栄 専攻	0	0	0	21	0	0	0	14	0	0	0	5
	17	4	0		11	3	0		5	0	0	
生活 専攻	10	5	1	91	3	4	1	41	2	3	1	19
	66	9	0		28	5	0		11	2	0	

(5) センター利用入学者選抜（Ⅱ期）

ア 選抜試験結果（個別試験は実施せず）

（上段／男性、下段／女性）

科・部	志 願 者 2/26～3/2（生活・法2）				合 格 者 3/13（生活・法2）				入 学 者			
	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計	現役	既卒	認定	合計
生活科学	2	1	0	38	1	1	0	20	1	0	0	12
	30	5	0		16	2	0		10	1	0	
法経2部	24	10	1	54	23	10	1	53	13	6	0	31
	15	4	0		15	4	0		8	4	0	

イ 対象科目・配点割合

●法経科第1部ならびに生活科学科生活科学専攻（Ⅰ期）

- {『国語（近代以降の文章）』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『外国語』}から2教科・2科目で合否判定。2教科・2科目を超える科目を受験した場合は、高得点の科目を使用。（ただし『地理歴史』と『公民』の組み合わせでの合否判定は行わない。）※注
- 『理科』①のグループにおいて、“基礎”と名のつく科目は2科目必須となっているため、2科目で1科目とする。
- 『外国語』のうち「英語」はリスニングを含め、250点満点を4倍し、1000点満点に換算。「英語」以外の外国語は200点満点を5倍し1000点満点に換算。『国語（近代以降の文章）』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』は100点満点を10倍し1000点満点に換算。合計2000点満点で合否判定。

●生活科学科食物栄養学専攻（Ⅰ期）

- {『国語（近代以降の文章）』}から1科目、{『数学』のうち「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、『理科』のうち①グループ「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」②グループ「物理」、「化学」、「生物」}から1科目、{『外国語』のうち「英語」のみ}1科目の計3科目で合否判定。『数学』、『理科』について、2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用。※注
- 『理科』①のグループにおいて、“基礎”と名のつく科目は2科目必須となっているため、2科目で1科目とする。
- 「英語」はリスニングを含め、250点満点を4倍し、1000点満点に換算。『国語（近代以降の文章）』、『数学』、『理科』は100点満点を10倍し1000点満点に換算。合計3000点満点で合否判定。

●生活科学科生活科学専攻ならびに法経科第2部（Ⅱ期）

- {『国語（近代以降の文章）』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『外国語』}から1科目で合否判定。※注
- 『理科』①のグループにおいて、“基礎”と名のつく科目は2科目必須となっているため、2科目で1科目とする。
- 『外国語』のうち「英語」はリスニングを含め、250点満点を4倍し、1000点満点に換算。「英語」以外の外国語は200点満点を5倍し1000点満点に換算。『国語（近代以降の文章）』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』は100点満点を10倍し1000点満点に換算。1000点満点で合否判定。

※注 『地理歴史』及び『公民』並びに『理科』②グループにおいて、2科目受験した場合は第1解答科目の得点を採用。

ウ 成績調査

(Ⅰ期)

		法 経 科 第 1 部		生 活 科 学 科			
		法 律・経 商		食 物 栄 養 学 専 攻	生 活 科 学 専 攻 生活福祉・心理、居住環境		
受 験 者	最 高 点	1860/ 2000		2078/ 3000		1650/ 2000	
	平 均 点	1425.5/ 2000		1775.24/ 3000		1280.53/ 2000	
	最 低 点	860/ 2000		1390/ 3000		828/ 2000	
合 格 最 低 点		1290/ 2000		1708/ 3000		1320/ 2000	

(Ⅱ期)

		生活科学科		法 経 科 第 2 部	
		生活科学専攻			
		生活福祉・心理、居住環境			
受 験 者	最 高 点	930/1000		880/ 1000	
	平 均 点	711.16/1000		687.15/ 1000	
	最 低 点	540/1000		記載省略 (不合格1名)	
合 格 最 低 点		700/1000		500/ 1000	

3 学費等納入金

(1) 入学検定料 18,000円

(2) 入学科・学費等 (平成30年4月1日現在：授業料は在学中に改定される場合があります。)

単位：円

	法 経 科 第 1 部		法 経 科 第 2 部		生 活 科 学 科	
	市内出身者 (注2)	市外出身者	市内出身者 (注2)	市外出身者	市内出身者 (注2)	市外出身者
入 学 料	84,600	169,200	70,500	141,000	84,600	169,200
授 業 料 (注1)	390,000	390,000	150,000	150,000	390,000	390,000
実 験 実 習 費	—	—	—	—	20,000	20,000
教育振興会費等	72,000	72,000	37,000	37,000	71,000	71,000
災害傷害保険料	1,750	1,750	750	750	1,750	1,750
合 計	548,350	632,950	258,250	328,750	567,350	651,950

注1： 授業料については、前・後期の2回に分けて納入

注2： 市内出身者とは、入学の日(4月1日)の1年前から引き続き津市内に住所を有する者、またはその者の配偶者もしくは一親等の親族をいいます。市外出身者はそれ以外の者をいいます。